

◇ 2023 年度事業・活動報告

1. 寄付の造成

・福祉たすけあい基金、賛助会員募集に加え、「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成」プログラム実施に伴う寄付による寄付造成を行いました。

財団設立 11 年目を迎え、設立時からの寄付の総額は 3 月末現在で 2 億円超え、254,206,939 円となっています。

- ・生活クラブ組合員への情報発信、生活クラブ共済たすけあい委員会活動との連携により、福祉たすけあい基金参加者拡大をすすめましたが、3 月末の参加者は 10,913 人で期首より参加人数は 156 の減少となっています。

1) 福祉たすけあい基金<生活クラブ組合員寄付>

- ・年間寄付額は 13,157,100 円でした（前年比 99.6%）。
- ・組合員の福祉たすけあい基金寄付参加者データ

2023 年 4 月期首 11,069 人

3 月末取組人数 10,913 人

(1) 福祉たすけあい基金<生活クラブ組合員寄付>

地域生協	コモンズ・デポー	2023年度期首 (3月末)		3月末			当月 増減	期首 増減	組合員数 3月末
		参加者数	参加率	新規	参加者数	参加率			
横浜北	コモンズ小計	1,117	13.1%	5	1,089	13.0%	-2	-28	8,408
	デポー小計	1,137	11.5%	4	1,103	10.9%	1	-34	10,135
	総合計	2,254	12.2%	9	2,192	11.8%	-1	-62	18,543
横浜 みなみ	コモンズ小計	1,988	12.8%	51	1,985	13.1%	44	-3	15,204
	デポー小計	534	7.4%	22	552	7.5%	18	18	7,325
	総合計	2,522	11.1%	73	2,537	11.3%	62	15	22,529
かわさき	コモンズ小計	1,276	14.4%	3	1,250	13.9%	-2	-26	8,985
	デポー小計	447	10.8%	1	441	10.5%	-1	-6	4,182
	総合計	1,723	13.2%	4	1,691	12.8%	-3	-32	13,167
湘南	コモンズ小計	2,133	13.9%	8	2,095	13.6%	-1	-38	15,397
	デポー小計	421	7.9%	0	424	7.7%	3	3	5,523
	総合計	2,554	12.3%	8	2,519	12.0%	2	-35	20,920
さがみ	コモンズ小計	1,729	20.7%	1	1,690	20.7%	-11	-39	8,160
	デポー小計	287	11.4%	0	284	11.0%	0	-3	2,574
	総合計	2,016	18.6%	1	1,974	18.4%	-11	-42	10,734
全体	コモンズ小計	8,243	14.5%	68	8,109	14.4%	28	-134	56,154
	デポー小計	2,826	9.7%	27	2,804	9.4%	21	-22	29,739
	総合計	11,069	12.9%	95	10,913	12.7%	49	-156	85,893

(2) 参加拡大に向けた活動

福祉たすけあい基金の取組み拡大に向けて、生活クラブと連携して以下に取組みました。

主体	目的	アクション	対象等
生活クラブ 神奈川	参加拡大	年2回の福祉たすけあい基金ニュース配布	組合員は全員配布
かながわ生き 生き市民 基金	活動報告	福祉たすけあい基金レポート 年2回（夏・冬号）発行	班戸配組合員全員 ※デポ一組合員への配布が課題
		領収書と活動情報・賛助会員依頼書の送付	福祉たすけあい基金取組者。班戸配組合員は配達を通じて送付、デポ一組合員は郵送にて配布。
共催	助成団体との交流	贈呈式（第19期、第20期）	地域生協共済たすけあい委員会、組合員リーダー

(3) 福祉たすけあい基金 月別寄付額（円）

	組合員	一般	合計
4月	1,107,300	31,200	1,138,500
5月	1,110,400	3,600	1,114,000
6月	1,096,400	3,600	1,100,000
7月	1,103,100	1,200	1,104,300
8月	1,094,000	0	1,094,000
9月	1,097,000	0	1,097,000
10月	1,095,400	3,600	1,099,000
11月	1,094,000	2,400	1,096,400
12月	1,080,700	6,200	1,086,900
1月	1,100,400	58,000	1,158,400
2月	1,086,100	37,200	1,123,300
3月	1,092,300	3,600	1,095,900
合計	13,157,100	150,600	13,307,700

2) 福祉たすけあい基金<一般寄付>

月	一般寄付者	一般寄付者内容
4月	31,200	年間登録寄付者（4名、5団体）
5月	3,600	年間登録寄付者（1団体）
6月	3,600	年間登録寄付者（1名）、助成団体からの寄付（2団体）
7月	1,200	個人（1名）
8月	0	
9月	0	
10月	3,600	助成団体からの寄付（2団体）
11月	2,400	個人（1名）、助成団体からの寄付（1団体）
12月	6,200	個人（1名）、助成団体からの寄付（1団体）
1月	58,000	個人（6名）、助成団体からの寄付（2団体）
2月	37,200	個人（7名）、助成団体からの寄付（1団体）

3月	3,600	個人（1名）
合計	150,600	

・一般寄付者は、「たすけあい未来ファンド」からの継続寄付者、個人寄付者、助成団体からの寄付（一口1,200円以上で依頼／取組は任意）で構成されています。

<助成団体からの寄付>

・子どもひろば「みらい」（第13期）	1,200円
・みんなのレモネードの会（第19期、コロナ緊急助成団体）	1,200円
・ヨコハマ・インクルボッチャ（第17期、第19期）	2,400円
・ぴあっと（第19期、第21期）	1,200円
・FCかながわ県肢体不自由児協会（第20期）	5,000円
・ふじぼけ（第17期、第19期、第21期）	1,200円
・川和日本語教室（第18期）	1,200円
・あそびの庭（第17期、第19期、第21期）	1,200円
合計	14,600円

3) 遺贈・終活寄付

(1) 子ども貧困に立ち向かう応援基金（終活寄付プログラム）

・3月までに29名、1団体より172.5万円の寄付がありました。

4) オーダーメイド寄付

(1) JA横浜 子どもの未来支援助成（第2回）

・JA横浜から236万円の寄付を受けました。

(2) ユーコープ 子ども支援助成（第3期）

・生活協同組合ユーコープ から235万円の寄付を受けました。

5) 財団運営費への寄付

・生活クラブ生協からの法人寄付（250万円）が4月にありました。

6) 賛助会費

・個人18名の新規会員の拡大がありました。

・個人会費380,200円（85名）、団体会費310,000円（19団体）の納入がありました。

① 会員の状況

区分	人数・団体数	上期納入数
個人会員	164人	85人
法人・団体会員	33団体	19団体

② 個人会費（納入分）・・・個人情報により割愛

③ 団体会費（納入分）

団体名	金額 円
(株)ウエルライフ	30,000
(株)オルタフーズ	60,000
共生食品(株)	10,000

(株)秋川牧園	20,000
オルタスクエア(株)	50,000
(株)エコグリーン	10,000
(株)ニッコー	10,000
(株)カジノヤ	10,000
新生酪農株式会社	10,000
神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会	10,000
(特非) 参加型システム研究所	10,000
(株)創土社	10,000
(財) 神奈川県地域労働文化事業団	10,000
(特非) はだのあすなる会	10,000
(株) 青い海	10,000
(一社) 川崎地方自治研究センター	10,000
(公社) 神奈川県地方自治研究センター	10,000
(公財) 横浜 YMCA	10,000
(特非) 神奈川フードバンクプラス	10,000
合 計	310,000

2. 事業報告

1) 助成事業（公益事業1）

プログラム	第20期福祉たすけあい助成 (通常)	子どもの貧困 に立ち向かう 市民活動応援	第21期福祉たすけあい助成 (スタート)	JA 横浜 子どもの未来支援助 成	ユーコープ 子ども応援助成
募集総額	400万円	120万円	500万円	200万円	200万円
募集時期	23年5月	23年5月	23年12月	23年12月	24年1月
助成時期	23年9月	23年9月	24年3月	24年3月	24年3月
申請団体数	15団体	15団体	21団体	14団体	47団体
助成団体数	15団体	12団体	17団体	13団体	43団体
助成額	4,000,000円	1,064,000円	3,792,000円	2,000,000円	2,000,000円

(1) 福祉たすけあい助成（第20期、第21期）

福祉たすけあい基金は、市民基金を代表する助成プログラムです。組合員代表の選考参画（2段階選考）、組合員リーダーと助成団体との交流（贈呈式や地域生協理事会等の団体交流・訪問活動）を通じた「地域課題の共有」が、常設プログラムとしての発展に繋がっています。

第20期（通常型）の申請数は、昨年度の通常型（第18期）の21団体から15団体に減少しました。また、助成団体数は昨年度（第18期）の17団体から15団体となりました。（見送り団体はありませんでした）助成団体の内訳は、子ども支援（4）、障がい・患者支援（3）、居場所（2）、高齢者支援（3）、生活困窮者支援（2）、国際交流（1）、地域活性（1）でした。

第21期（スタート助成）は申請が21団体、助成団体が17団体となりました。昨年度のスタート助成（19期）の申請20団体、助成団体19団体と比較するとほぼ同じとなっています。助成団体の内訳は、

居場所 (7)、障がい・患者支援 (3)、学習支援 (2)、インクルーシブ活動 (2)、子育て支援 (1)、地域活性 (2) でした。

今年度の特徴は様々な分野への助成であったこと、特に、国際交流活動への助成(4年ぶり)やインクルーシブ活動への助成があったこと等が挙げられます。

事前相談を必須にしたことにより、相談団体数は増えています。相談では、組織基盤強化の考え方や財政計画の立て方について重点的に話し合いをしており、申請に至らない場合でも、次へのチャレンジに繋がっています。

(2) 第2期子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成 (地域の学び場支援)

遺贈・終活寄付プログラムとして「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成」に取り組みました。遺贈寄付については、調査・検討を2017年から行い、2019年に生活クラブ運動グループ7団体と共にネットワーク組織「遺贈寄付相談・市民ネット」を立ち上げました。財団としては、遺贈寄付(広く終活寄付)の仕組みづくりと財団固有の助成プログラムを準備してきました。

第2期助成でも、昨年に引き続き「地域の学び場支援」をテーマに実施しました。

(3) JA横浜子どもの未来支援助成 (第2回)

昨年度のJA横浜創立(合併)20周年記念事業企画に引き続き、JA横浜子どもの未来支援助成が継続されることになりました。今年度は、テーマを子どもの学習活動に絞って200万円のオーダーメイド助成として実施しました。14団体から2,677,814円の申請があり、14団体へ200万円助成しました。

(4) ユーコープ子ども応援助成 (第3期)

ユーコープより200万円の寄付を受けオーダーメイド助成として取り組みました。今年度は対象をこども食堂のみから学習支援にも拡大し、名称を「子ども食堂地域食堂応援助成」から「ユーコープ子ども応援助成」に変更して行いました。47団体から4,516,000円の申請があり、43団体へ200万円助成しました。

<助成事業に関する広報活動>

・助成募集チラシの作成

第20期、第21期福祉たすけあい基金募集チラシ、子どもの貧困に立ち向かう応援助成募集チラシ、オーダーメイド助成チラシを作成し、神奈川県内の市民活動サポートセンター39か所に配架の手配をした他、生活クラブ生協ほか関係団体にチラシを配布し広く広報しました。また、メールマガジンによる広報も同時に行いました。

・公益事業コミュニティサイトのCANPANに助成情報を掲載しました。

<参考資料> 第1期～第21期申請団体の推移並びに助成金額

	助成時期	助成団体数	助成金額(円)	申請団体数	申請金額(約万円)
第1期	2014年4月助成	9	4,514,100	34	2400
第2期	2015年2月助成	12	3,944,950	17	700
第3期	2015年5月助成	11	3,822,000	20	1084
第4期	2015年8月助成	13	3,389,131	20	1000
第5期	2016年3月助成	6	1,667,633	12	390

第6期	2016年8月助成	7	3,245,769	18	640
第7期	2017年4月助成	10	2,493,230	16	490
第8期	2017年8月助成	13	4,000,000	20	1000
第9期	2018年4月助成	16	4,346,100	24	740
第10期	2018年8月助成	11	3,560,382	19	859
第11期	2019年4月助成	14	4,440,364	15	508
第12期	2019年8月助成	11	3,941,072	13	611
第13期	2020年4月助成	12	3,266,759	13	393
第14期	2020年11月助成	8	3,275,903	10	544
第15期	2021年4月助成	16	5,000,000	17	581
第16期	2021年8月助成	11	3,996,881	11	461
第17期	2022年4月助成	18	4,998,871	21	716
第18期	2022年9月助成	17	4,000,000	21	999
第19期	2023年4月助成	19	4,700,000	20	642
第20期	2023年9月助成	15	4,000,000	15	523
第21期	2024年3月助成	17	3,792,000	21	670
合 計		266	80,395,145	377	15,951

※ 第5、7、9、11、13、15、17、19、21期はスタート助成

2) 研修・セミナー事業（公益目的事業2）

(1) 居場所ツアーの実施

- ・地域での居場所づくり活動の応援を目的に、助成団体の先行事例を学ぶ企画として「居場所見学ツアー」に取り組みました。『福祉たすけあい基金レポート夏号』と生活クラブ組合員リーダー、未来機構からの声かけを通して募集し、5名の参加がありました。居場所づくりに関心を持つ市民の掘り起こしや後押しとなりました。

第1回（9月6日）	オリエンテーション	オルタナティブ生活館
第2回（9月9日）	こども食堂 ハレの日ケの日 （横浜市）見学	JA 横浜子供の未来支援助成助成団体
第3回（9月21日）	NPO 法人霧が丘ぶらっとほーむ （横浜市）見学	第19期、JA 横浜子供の未来支援助成助成団体

3) 相談・助言事業（公益目的事業3）

(1) 一般社団法人フードバンクの事務局業務の受託

- ・フードバンクかながわの事務局業務受託の取組は6年目となります。広報・ネットワークづくり業務を中心とした受託です。今年度については、1名態勢での取り組みとなりました。
- ・一昨年からフードバンクかながわから休眠預金活用事業に係る調査研究を受託しています。受託内容は、主に食品提供団体へのアンケート調査・分析、報告書作成などです。

(2) 生活クラブ生協（ユニオン）からの事務局業務の受託

昨年7月から取り組んでいるデポの拠点機能を高めるための活動事務局の受託を今年度も受託しています。組合員によるアソシエーションづくりの相談・伴走支援を行っています。

(3) 遺贈寄付相談に向けた取り組み

- ・ 遺贈寄付相談・市民ネットの活動
生活クラブ、福祉クラブ、神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会、ワーカーズ・コレクティブ協会、女性・市民コミュニティバンク、WE21 ジャパン、地球の木とともに、2019年8月に「遺贈寄付相談・市民ネット運営委員会」を立ち上げ、共通での相談窓口の開始とともに、ホームページの開設、リーフレットの作成、スタート集会や相続セミナーに向けた広報活動などを行ってきました。
- ・ 8月に2023年度第1回相続セミナーを開催しました。参加者は、12人（会場参加8人、オンライン参加4人）でした。例年、好評であった、金子大也氏（公認会計士・税理士）による、相続の基礎知識に加えて、今年度は早坂毅氏（税理士、行政書士）による遺贈寄付についての二本立てで開催しました。
- ・ 12月に第2回相続セミナーを開催しました、参加者は15人（会場7人、オンライン8人）でした、内海光弥氏（弁護士）の相続の基礎知識と遺言書の書き方、に加え今年度は第1回同様に清水保代氏（司法書士）による相続登記の義務化についての二本立てで開催しました。
- ・ 11月には運営委員会主催の学習会として、非営利団体の資金調達～善意の資金の集め方～（講師：徳永洋子さん（ファンドレイジング・ラボ代表、認定 NPO 法人日本ファンドレイジング協会理事））を開催し、32名の参加（会場13名、オンライン19名）がありました。市民基金の助成団体にも情報を提供し19団体が参加しました。
- ・ 財団としては、昨年度、新たな遺贈寄付の受け入れプログラム「子どもの貧困にたちむかう市民活動応援基金」「冠基金」を設立しました。今年度も、ホームページやメールマガジンでの広報、賛助会員、過去の寄付者へのお知らせなどの寄付募集活動を行っています。
- ・ 子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金を原資とした「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援（第2期）」を9月に行いました。

(4) 生活クラブ生協の居場所をテーマとしたアソシエーション形成への協力

生活クラブ生協の「居場所・アソシエーション支援基金 支援チーム」に桜井副理事長・土屋事務局長が参加し、居場所ツアー・フォーラム開催を支援しました。

4) 広報発行事業（公益目的事業4）

(1) ユーコープ子ども食堂・地域食堂応援助成第2期（福祉たすけあい基金 book 増刊）の発行

- ・ 6月に700部発行し、ユーコープ（300部）や市民基金関連者に配布しました。

(2) 生活クラブソーシャルインクルーシブ助成第2期（福祉たすけあい基金 book 増刊）の発行

- ・ 10月に800部発行し、生活クラブや市民基金関連者に配布しました。

(3) 「福祉たすけあい基金 B o o k Vol. 12」の発行

- ・ 第19期と20期と合わせた福祉たすけあい基金の助成団体紹介のためのブックレットの作成を12月発行し、贈呈式でも配布しました。市民基金関連者への配布とし、発行は500部の予定です。尚、19期、20期の報告については、ホームページで公開しています。

(4) 「福祉たすけあい基金レポート」の発行

- ・ 生活クラブ組合員向けに活動報告を作成し、年2回（7月に夏号、11月に冬号）コモンズ組合員全

員に配布しました。

- ・今年度よりデポー組合員への広報対策として、ホームページへのアップも行いました。
- ・また、領収書配布時に、基金レポート増刊号を発行しました。

(5) ホームページの一部改良

- ・ワーカーズ・コレクティブほっとリンクへの作業の委託を継続してタイムリーな情報発信を行いました。
- ・昨年度下期に全面リニューアルを行い、4月より新しい画面となりました。

(6) ニュースレターの発行とメールマガジンの配信

- ・2019年の10月より、新たな広報の手段として、市民基金ニュースレターの作成を行い、毎月1回発行しています。
- ・メールマガジンの登録が1200名を越えました。ニュースレターによる定期配信と募集情報などの臨時配信を行いました。また、今年度は、研究会やイベントなどの臨時配信も行いました。

(7) 年次報告書の作成

- ・2022年度年次報告書を作成し関連団体や賛助会員へ配布しました。

5) その他

(1) 生活クラブ組合員活動との連携

<福祉たすけあい基金贈呈式の開催>

福祉たすけあい基金の助成団体と寄付者である生活クラブ組合員が直接出会い、各団体の活動内容を共有することで福祉たすけあい基金への共感を深め、更なる寄付参加の拡大や地域での活動交流につなげていくことを目的に、生活クラブ共済たすけあい委員会と共催で開催しました。

6月に第19期、12月に第20期の贈呈式をオルタ館にてリアル・オンライン併用で開催しました。第20期からはリアル参加枠を増やし会場をスペースオルタに変更したことで、総勢76名の参加となりました。福祉たすけあい基金価値を再確認し、組合員と助成団体、助成団体同士の交流を深めることで、今後の新しい寄附参加や各地域での活動連携のきっかけ作りとなりました。

●贈呈式開催記録

	開催日	開催方法	参加者
第19期贈呈式	6月24日	リアル&オンライン リアル：助成団体、組合員リーダー オンライン：組合員リーダー	56名
第20期贈呈式	12月5日	リアル&オンライン リアル：助成団体、組合員リーダー オンライン：組合員リーダー	76名

(2) 生活クラブ地域生協（横浜北・横浜みなみ・かわさき・湘南・さがみ）との活動連携

- ・地域生協が主催する福祉たすけあい基金学習会への講師としての参加、助成団体見学会のコーディネートを行いました。

地域生協	月日	内容
湘南生活クラブ	7/18	福祉たすけあい基金学習会
横浜みなみ生活クラブ	9/20	福祉たすけあい基金学習会および助成団体への見学会
さがみ生活クラブ	9/26	福祉たすけあい基金学習会
横浜北生活クラブ	11/30	まちづくり基金学習会
さがみ生活クラブ 大和コモンズ組合員集会	1/19	まちづくり基金学習会
横浜みなみ生活クラブ (福祉ユニット)	2/8	助成団体活動共有

(3) JA 横浜子どもの未来支援助成報告交流会の共催

10月にJA横浜子どもの未来支援助成報告交流会をJA横浜との共催により、JAみなみ総合センターで開催しました。助成団体32団体のほかに、JA横浜常務理事柳下充さんをはじめとするJAの役員・職員・女性部など組合員の皆さん、横浜みなみ生活クラブ組合員等総勢60名あまりの参加がありました。まず、横浜市こども青少年局企画調整課・課長柿沼千尋さんより横浜市のこどもを取りまく状況について報告があり、続いて、金沢子ども食堂すくすく代表加々美マリ子さん、NPO法人フードバンク浜っ子南代表理事下山洋子さん、一般社団法人かけはし代表廣瀬貴樹さんからの活動報告を受け、柿沼課長、荻原妙子市民基金理事長ともにパネルディスカッションを行いました。その後は参加者全員での交流会としました。

JA横浜子どもの未来支援助成の取り組みの価値を再確認し、助成団体、JA横浜女性部や職員、横浜みなみ生活クラブ組合員等主催者や参加者同士の交流を深め、今後の活動連携の期待がもてる機会とすることができました。

(4) かながわ生き活き市民基金10年を振り返るプロジェクト

2013年に設立したかながわ生き活き市民基金の10年を振り返り未来を構想するプロジェクトを計4回にわたり開催しました。メンバーは田中夏子理事、手塚明美理事、三浦一浩理事、数寄真人理事、戸田美智子理事、荻原妙子理事長、桜井薫副理事長、土屋誠司事務局長、大橋伸太郎事務局です。

2013年から2022年までには社会的状況や基金の社会的位置づけも変わっています。走り続けた10年間は大きな改革には取り組まずに進んできましたが、①かながわ生き活き市民基金の認知度の拡大、②フードバンク設立等を契機とするネットワークの重層化、③コロナ感染症拡大による助成支援活動などにより、当初に比べ、オーダーメイド助成、テーマ型助成など、助成事業が大きく広がりました。インターネットの普及による生活環境の変化は近年におけるもっとも大きなイノベーションとなり、オンラインの活用や多くの市民財団が、休眠預金活用助成の資金分配団体となる、複数のクラウドファンディングに取り組むという状況もあります。(10年間の事業概要は本冊の資料に添付しました。)一方でかながわ生き活き市民基金の基盤である生活クラブ福祉たすけあい基金について、生活クラブで見直しの議論が始まりました。

1月理事会に10年の振り返りプロジェクトのまとめを提出しましたが、2022年度までにのべ713団体、実数で354団体の地域の課題に助成してきた実績を市民自治にどう活用していくのか、さらに議論を深める必要があり、2024年度プロジェクトを研究会として継続し、2025年度以降の市民基金第2ステージにむけた方針を検討することになりました。

(5) NPO 法人全員参加の地域未来創造機構との活動連携

2022 年設立の NPO 法人全員参加の地域未来創造機構の正会員団体として運営に参加し（桜井副理事長）、講座企画運営委員として活動しました。また「アソシエーション活動実態調査」研究会に参加し「2023 年度地域を豊かにする活動調査」に参加しました。

(6) 生活クラブまちづくり基金創設準備会他への参加

生活クラブは 2003 年設立の生活クラブ福祉たすけあい基金 20 年総活を行い、福祉たすけあい基金を終了し、生活クラブまちづくり基金創出を進めます。この議論過程に荻原理事長・土屋事務局長が参加しました。準備会では福祉たすけあい基金の振り返り、まちづくり基金の学習会等に協力しました。

3. 法人運営

1) 機関会議運営

(1) 理事会

- ・定例理事会を 5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月に、臨時理事会を 6 月にオンライン併用で開催しました。
- ・各理事会の主な議決事項は以下の通りです。

	主な議決事項
第 1 回 (5 月度理事会) 5 月 20 日開催 (オンライン併用)	①2023 年度定時評議員会議案の決定 ②居場所ツアー実施計画の承認
第 1 回臨時 6 月 3 日開催 (オンライン併用)	①理事長の選任並びに副理事長の選任 ②選考委員、選考部会メンバーの承認
第 2 回 (7 月度理事会) 7 月 15 日開催 (オンライン併用)	①市民基金 10 年の振り返り・みらい構想検討チームの設置
第 3 回 (9 月度理事会) 9 月 16 日開催 (オンライン併用)	①第 20 期福祉たすけあい基金選考結果の承認 ② 子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成選考結果の承認 ③福祉たすけあい基金第 21 期（第 9 期スタート助成）実施計画・募集要項の承認 ④ JA 横浜子どもの未来支援助成（2023）実施計画・募集要項の承認 ⑤基金レポート（2023 年冬号）の発行計画と予算の承認
第 4 回 (11 月度理事会) 11 月 25 日開催 (オンライン併用)	① 2023 年度上期事業報告・決算の承認並びに下期対策 ②ユーコープ・オーダーメイド助成 第 3 期子ども応援助成実施計画の承認 ② 福祉たすけあい基金取組み組合員への領収書発行等に係る予算承認
第 5 回 (1 月度理事会) 1 月 20 日開催	① 2024 年度事業計画（一次討議） ② 2023 年度第 1 回臨時評議員会開催要領並びに議案の決定 ③ 2024 年度年間会議日程

(オンライン併用)	
第6回 (3月度理事会) 3月9日開催 (オンライン併用)	① 2023年度臨時評議員会議案の決定 ② 第21期福祉たすけあい基金選考結果の承認 ③ ユーコープ子ども応援助成(第3期)選考結果の承認 ④ 第2回JA子どもの未来支援助成選考結果の承認 ⑤ 第22期福祉たすけあい基金募集要項並びにチャートの承認 ⑥ 「地域の学びの場支援助成」募集要項並びにチャートの承認 ⑦ 福祉たすけあい基金贈呈式の開催方針 ⑧ 市民基金のアドボカシー活動に関する研究会開催計画

(2) 定時評議員会の開催

- ・6月3日に定時評議員会を開催し、2022年度決算報告を承認しました。
- ・役員理選出が行われ、理事23名が選任されました。
- ・役員補充選出が行われ、監事1名、評議員3名が選出されました。

(3) 臨時評議員会の開催

- ・3月23日に臨時評議員会を開催し、2024年度活動方針、予算案を承認しました。

(4) 参加状況

・理事会

	5月度定例	6月度臨時	7月度定例	9月度定例	11月度定例	1月度定例	3月度定例
理事	18/22	16/23	18/23	16/23	20/23	21/23	21/23
監事	3/3	2/3	2/3	3/3	2/3	2/3	3/3

・定時評議員会

	定時評議員会
評議員	15/25

・臨時評議員会

	臨時評議員会
評議員	16/25